

# アジア太平洋要求工学国際会議(APRES2016)

## Third Asia-Pacific Requirements Engineering Symposium

平成 28 年 11 月 10 日(木)から 12 日(土)、南山大学名古屋キャンパスで、JISA がゴールドスポンサーをした、第 3 回アジア太平洋要求工学国際会議(APRES2016)開催された。参加者は約 130 名。APRES はアジア太平洋地域での要求工学の振興を目的として 2014 年に発足した。

本年は、世界をリードする著名な研究者、経営者による基調講演に加え、自動運転、AI、デジタルビジネスなどの今後の情報システム開発における要求工学を展望する「要求工学の未来」をテーマとするセッションが設けられた。

11 月 10 日(木) Carl K. Chang 氏(アイオワ州立大学、米国)による状況に応じた要求技術と、井上友二氏((株)トヨタ IT 開発センター)による自動車とモビリティに関する基調講演等があり、夕方、南山大学リアンカフェでレセプションが開催された。

11 月 11 日(金) 「要求工学の未来」をテーマとする講演として、松ヶ谷和沖氏((株)デンソー)は「自動運転の動向」、丸山宏氏((株)プリファードネットワークス)は「Machine Learning as a Programming Paradigm and its Implication to Requirements Engineering」、青山幹雄氏(南山大学)は「REBOK(要求工学知識体系)とデジタルビジネス時代の要求工学」の講演等があり、夜、徳川園でバンケットが開催された。

11 月 12 日(土) 午前中に Michael A. Cusumano 氏(マサチューセッツ工科大学、米国)による「5 つの戦略ルール」の基調講演等が行われ、午後「イノベーションを創出する要求工学」をテーマに Michael A. Cusumano 氏、山本里枝子氏(富士通研究所)、Seok-Won Lee 氏(亜洲大学校、韓国)、中谷多哉子氏(放送大学)でパネル討論が行われた。いずれのセッションにおいても質疑が活発に行われて、盛況のうちに閉会した。

APRES2017 は平成 29 年 11 月にマレーシアで開催予定である。



パネル討論の様子

### ■ 講演プログラム

	11 月 10 日(木)	11 月 11 日(金)	11 月 12 日(土)
9:20-	レジストレーション	自動運転(松ヶ谷)	実践事例紹介
10:40-	基調講演(Chang 教授)	方法論 2	基調講演 3 (Cusumano 教授)
13:30-	基調講演(井上会長)	機械学習(丸山)、REBOK(青山)	パネル討論、クロージング
15:20-	方法論 1	15:50- : 品質と試験	
18:00-	レセプション	19:00- : バンケット(徳川園)	